

議会だより

伊那市議会事務局

TEL02655781149
FAX0265769117
E-mail: gk@nacity.jp



伊那市議会6月定例会では9議案と請願・陳情4件・議員提出議案4件が提案され審議を行いました。今定例会に上程された議案を紹介します。

全会一致で可決された議案

(一般案件)

◆請負契約の締結《初日即決》

(高遠保育園建設建築工事)

◆市道路線の認定

(手良地区における民間事業者による開発に伴う道路の付替え)

◆請負契約の締結《追加議案》

(美篤小学校給食調理場改築建築工事)

(条例案件)

◆伊那市税条例の一部改正

(関係法律の施行に伴う改正)

◆伊那市定住自立圏形成協定の議決に関する条例の一部改正

(名称を「地方自治法第96条第2項の規定による議会の議決すべき事件を定める条例」に改め、基本構想の策定、変更又は廃止に関することを議決事件とする。)

◆伊那市空家等対策協議会条例 (伊那市空家等対策協議会の設置)

◆伊那市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正 (関係省令の施行に伴う改正)

(予算案件)

◆平成30年度伊那市一般会計第1回補正予算

○主な補正内容

- ・地方創生交付金活用事業
- ・福祉まちづくりセンターの建替え(実施設計など)
- ・森林管理システムの構築
- ・ペレットボイラー・ペレットストーブの設置(保育園・学校)
- ・農業機械等導入補助金増額
- ・南アルプスむら整備工事(公衆トイレの設置)
- ・南アルプス林道バス駐車場整備
- ・若宮市営住宅の整備(実施測量、設計業務委託ほか)

- ・特定路線の改良、道路・水路の維持補修費の増額
- ・ICT教育備品の購入(電子黒板等)

◆平成30年度伊那市公有財産管理活用事業特別会計第1回補正予算

(請願・陳情)

◆2019年度地方財政の充実・強化を求める請願

強化を求める請願

◆国の責任による35人学級推進と教育予算の増額を求める請願

義務教育費国庫負担制度の堅持を求める請願

(議員提出議案)

◆地方財政の充実・強化を求める意見書の提出

◆国の責任による35人学級推進と、教育予算の増額を求める意見書の提出

◆義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書の提出

■伊那市選挙管理委員及び補充員の選挙

地方自治法第182条第1項及び第2項の規定により、新たな選挙管理委員と補充員を各4名選出しました。

賛否の分かれた議案等(審議結果と各議員の賛否一覧)

○…議案、請願・陳情に賛成 ×…反対 ☆…趣旨採択
なお、原則として議長は採決に加わりません。

区分	件名	委員会結果	池上直彦	小林眞由美	田畑正敏	馬場毅	原一馬	松澤嘉	三澤俊明	宮原英幸	白鳥敏明	二瓶裕史	野口輝雄	唐澤千明	唐澤稔	宮島良夫	飯島進	飯島光豊	柴満喜夫	前田久子	柳川広美	飯島尚幸	黒河内浩(議長)	本会議結果
請願・陳情	◆憲法原理に反する改正提起と自衛隊明記の自民党改憲案に反対する陳情	不採択	×	×	×	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	○	×	○	×	×	○	×		不採択
議員提出	◆財務大臣の引責辞任を求める意見書の提出	付託省略	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○	×		否決

6月定例市議会

一般質問から

伊那市議会6月定例会の一般質問は、6月13日、14日、15日の3日間にわたって行われ、17人の議員が質問に立ちました。質問と答弁の主な内容をお知らせします。



宮島良美

臨時・非常勤職員の雇用安定・処遇改善について

問 宮島良夫議員 関係法令の改正に伴う「会計年度任用職員」への移行について、伊那市の方向性は。また、待遇改善の状況は。

答 市長 国からの通知・マニュアル等に基づき、導入に向けた検討を進め、実態調査により把握した勤務条件等の分析・整理を行っている。ほとんど非常勤職員が「会計年度任用職員」に移行する見込みである。現在の任用に当たっては、職務の内容とバランスをとった待遇の

確保に努めており、新制度移行後の給料制度についても、責任の度合いなどを考慮して検討していきたい。

地域自治会加入について

問 宮島良夫議員 伊那市では移住世帯が増加する一方、地域の自治会に加入してくれないとの話があるが、移住後の加入状況調査はしているのか。また伊那市全体の自治会加入の実態は。

答 市長 法的には強制できないことであるが、他の調査と併せて把握していきたい。加入率は平成26年度以降76%前後で推移してきている。自治会未加入の原因の一つである加入金の必要性・金額についての検討を昨年8月に各区長へ依頼し、見直しを行った区もある。

市長の職務について

問 宮島良夫議員 上伊那郡域連合長や中央行政組合長など市長の職務が多い。伊那市観光株式会社社長、上伊那森林組合長の任をおりて、早期に兼務解消するべきでは。

答 市長 広域連合などの行政関係は中心都市としてやむを得ないと考える。兼務については早期に適任者を探していきたい。



飯島進

子どもの安心・安全について

問 飯島進議員 保育園・幼稚園そして学校現場での「あいさつ」の実態は。

答 市長 園児には、行き会う人にあいさつするよう指導している。幼児は人物の判断が難しいので、事件防止の観点から知らない人についてはいかない、むやみに返事をしないことも指導している。
教育長 小中学校では、顔見知りの方からあいさつされたら、

積極的に、また元気にあいさつするよう指導している。

問 飯島進議員 不審者情報の件数とその対応は。

答 教育次長 平成29年度は9件あり、すぐにメール、電話で学校に連絡し情報を共有した。子どもたちに不審者への対応を徹底するとともに警察と連携を図り、また、安心安全メールで保護者への周知も図っている。

問 飯島進議員 防災行政無線を利用し、子どもたちの見守りを、全市民にお願いする放送をできないか。

答 市長 屋外拡声子局の近頃は、音が大きく「やかしい」との意見もある。不審者の情報があつた場合は、安心安全メールで流している。実験的に行うことが可能なかももう少し考えてみたい。

Jアラートの誤報について

問 飯島進議員 Jアラートの誤報で市民が混乱したが、状況と再発防止策は。

答 市長 Jアラートの誤報は、人的ミスであった。市民から約30件の電話を受けている。危機管理監 再発防止策として、

職員2人でマニュアルとチェックリストを確認しながら情報発信するように改めるとともに、事前に告知するようにした。



唐澤稔

高齢者等買い物弱者といわれる方々の支援について

問 唐澤稔議員 高齢者等買い物弱者への支援は。

答 市長 民間事業者が行っている宅配サービスや移動販売等の取り組みについて市民へ周知していきたい。それにより利用の促進や事業の継続、対象地域の拡大に結びついていくことを期待している。また介護保険の総合事業を活用した住民主体による移動支援についても検討していきたい。

森林所有者の特定と集約について

問 唐澤稔議員 森林境界明確化促進事業の取り組み状況は。

答 市長 森林境界明確化事業については、基礎となる林地台帳の公表に向けて森林

所有者・境界に関する情報を整備している。今後、県のデータとの整合性を図りながら、平成31年4月からの公表を行う予定である。また、伊那市が指定された林業成長産業化地域モデル事業の中でも、境界明確化のソフト事業の予算措置がされるため、これらのメニューを活用して進めていく。

問

唐澤稔議員 県道、市道の道路沿いの倒木対応は。

答

市長 県道沿いの倒木に所は、伊那建設事務所に連絡して対応をお願いしている。松枯れについては、耕地林務課の松枯れ対策で対応可能な範囲内で、所有者や地元と調整し対応している。電線等に影響がある場合は、電力会社と連携して対応していく。



二瓶裕史

投票率を上げるためにすべきことは

問

二瓶裕史議員 ①今後の選挙に向けて策はあるか。②公選法改正により設置が可能になった共通投票所を設置

しては、③若年層の投票率向上策として選挙手帳を配布しては。④小中学校からの主権者教育が重要。社会の構成員として主体的に地域の課題解決をする力をつける主権者教育の推進を。

答

選挙管理委員長 ①これまでの啓発活動に加え、高校生を期日前投票所の投票立会人に選任する。②まずは期日前投票のPRをしていきたい。③導入済み自治体での効果を見て考えたい。

問

教育長 ④家庭、地域、小中学校等社会全体で推進していくことが大切。総合的な学習、キャリア教育はそれに通ずるものである。

答

市長 ①子育て世代への経済支援は手厚くしていきたい。また、地域の自然を生かした保育、世代間交流の充実

する。②子育て支援策には「安全・安心」という大前提が重要だと考える。③中学生以降の子育て支援についてどう考えるか。

子育てしやすい伊那市の実現に向けて

問

二瓶裕史議員 ①「日本一子育てのしやすいまち」にするためには何が必要か。②子育て支援策には「安全・安心」という大前提が重要だと考える。③中学生以降の子育て支援についてどう考えるか。

答

市長 ①子育て世代への経済支援は手厚くしていきたい。また、地域の自然を生かした保育、世代間交流の充実

問

野口輝雄議員 相談の時間が取れない母親のためのSNSを使った育児相談システムの構築を

答

市長 SNSの利用についてはいくつかの課題もあるので、FAQ(よくある質問と回答)をホームページに設けたり、相談対応における職員の資質の向上で対処したい。



野口輝雄

子育てに悩む母親にSNSを使った育児相談システムの構築を

問

野口輝雄議員 相談の時間が取れない母親のためのSNSを使った育児相談システムの構築ができないか。

答

市長 SNSの利用についてはいくつかの課題もあるので、FAQ(よくある質問と回答)をホームページに設けたり、相談対応における職員の資質の向上で対処したい。

問

野口輝雄議員 希望すれば毎年受けられる認知機能検査と、運転実技講習を市の施策として実施できないか。

答

市長 希望すれば毎年受けられる認知機能検査と、運転実技講習を市の施策として実施できないか。

問

野口輝雄議員 希望すれば毎年受けられる認知機能検査と、運転実技講習を市の施策として実施できないか。

答

市長 希望すれば毎年受けられる認知機能検査と、運転実技講習を市の施策として実施できないか。

問

野口輝雄議員 希望すれば毎年受けられる認知機能検査と、運転実技講習を市の施策として実施できないか。

答

市長 希望すれば毎年受けられる認知機能検査と、運転実技講習を市の施策として実施できないか。

答

市長 交通安全協会や警察の安全教室で一定の成果が出ていることから、開催回数を見直しや広報により対応していきたい。高齢者が事故を起こさない環境作りを考える時代にきていると認識している。

問

野口輝雄議員 伊那市の自然の素晴らしさを示すゲンジボタルの生息をアピールしたり、子ども達の環境教育に利用できないか。

答

市長 伊那市の自然環境を、市民に知らせるための手立てを考えたい。

問

野口輝雄議員 伊那市の自然の素晴らしさを示すゲンジボタルの生息をアピールしたり、子ども達の環境教育に利用できないか。

答

市長 伊那市の自然環境を、市民に知らせるための手立てを考えたい。

問

野口輝雄議員 伊那市の自然の素晴らしさを示すゲンジボタルの生息をアピールしたり、子ども達の環境教育に利用できないか。

答

市長 伊那市の自然環境を、市民に知らせるための手立てを考えたい。

問

野口輝雄議員 伊那市の自然の素晴らしさを示すゲンジボタルの生息をアピールしたり、子ども達の環境教育に利用できないか。

答

市長 伊那市の自然環境を、市民に知らせるための手立てを考えたい。

問

野口輝雄議員 伊那市の自然の素晴らしさを示すゲンジボタルの生息をアピールしたり、子ども達の環境教育に利用できないか。

答

市長 伊那市の自然環境を、市民に知らせるための手立てを考えたい。

問

野口輝雄議員 伊那市の自然の素晴らしさを示すゲンジボタルの生息をアピールしたり、子ども達の環境教育に利用できないか。

答

市長 伊那市の自然環境を、市民に知らせるための手立てを考えたい。

問

野口輝雄議員 伊那市の自然の素晴らしさを示すゲンジボタルの生息をアピールしたり、子ども達の環境教育に利用できないか。

答

市長 伊那市の自然環境を、市民に知らせるための手立てを考えたい。

問

野口輝雄議員 伊那市の自然の素晴らしさを示すゲンジボタルの生息をアピールしたり、子ども達の環境教育に利用できないか。

答

市長 伊那市の自然環境を、市民に知らせるための手立てを考えたい。

ており、成長モデル事業等活用し進める。人材育成は年8人の予算枠を確保し、累計15人の実績である。

問

宮原英幸議員 市民参加の手順・過去実績はどうか。また、森林環境譲与税等の国会決議を受けて、生産森林組合を含む、私有林管理課題解決に向けての市の準備状況は。

答

市長 6月より市内9地区において説明会開催予定で、所有者には新たな施策などを説明し、理解を得ていく。森林環境譲与税配分等の関連説明も行い、モデル地区選定等、関係者と連携し計画的に実施する。

問

宮原英幸議員 当計画は新たな総合計画でも進めるのか。また市内桜の管理状況及び誘客、地域支援施策は。

答

市長 重要施策として受け継ぎ、桜守の会の指導等を継続する。高遠公園内のタカトコヒガンザクラは、作成した個別カルテをもとに、保護育成に努めていく。各スポットへもマップ等で誘導し、地域要望も踏まえ支援していく。

問

宮原英幸議員 当計画は新たな総合計画でも進めるのか。また市内桜の管理状況及び誘客、地域支援施策は。

答

市長 重要施策として受け継ぎ、桜守の会の指導等を継続する。高遠公園内のタカトコヒガンザクラは、作成した個別カルテをもとに、保護育成に努めていく。各スポットへもマップ等で誘導し、地域要望も踏まえ支援していく。

問

宮原英幸議員 当計画は新たな総合計画でも進めるのか。また市内桜の管理状況及び誘客、地域支援施策は。

答

市長 重要施策として受け継ぎ、桜守の会の指導等を継続する。高遠公園内のタカトコヒガンザクラは、作成した個別カルテをもとに、保護育成に努めていく。各スポットへもマップ等で誘導し、地域要望も踏まえ支援していく。

問

宮原英幸議員 当計画は新たな総合計画でも進めるのか。また市内桜の管理状況及び誘客、地域支援施策は。

答

市長 重要施策として受け継ぎ、桜守の会の指導等を継続する。高遠公園内のタカトコヒガンザクラは、作成した個別カルテをもとに、保護育成に努めていく。各スポットへもマップ等で誘導し、地域要望も踏まえ支援していく。

問

宮原英幸議員 当計画は新たな総合計画でも進めるのか。また市内桜の管理状況及び誘客、地域支援施策は。

答

市長 重要施策として受け継ぎ、桜守の会の指導等を継続する。高遠公園内のタカトコヒガンザクラは、作成した個別カルテをもとに、保護育成に努めていく。各スポットへもマップ等で誘導し、地域要望も踏まえ支援していく。

問

宮原英幸議員 当計画は新たな総合計画でも進めるのか。また市内桜の管理状況及び誘客、地域支援施策は。

答

市長 重要施策として受け継ぎ、桜守の会の指導等を継続する。高遠公園内のタカトコヒガンザクラは、作成した個別カルテをもとに、保護育成に努めていく。各スポットへもマップ等で誘導し、地域要望も踏まえ支援していく。

問

宮原英幸議員 当計画は新たな総合計画でも進めるのか。また市内桜の管理状況及び誘客、地域支援施策は。

答

市長 重要施策として受け継ぎ、桜守の会の指導等を継続する。高遠公園内のタカトコヒガンザクラは、作成した個別カルテをもとに、保護育成に努めていく。各スポットへもマップ等で誘導し、地域要望も踏まえ支援していく。

問 宮原英幸議員 上伊那 DMOの推進に当たり、市の取り組みは。

答 市長 上伊那は観光消費の伸びしろが期待できる。市町村独自の取り組みは観光協会が対応する。市民共同参画により広域的な観光地域づくりを進める。



馬場毅

非核平和宣言都市の看板再建を

問 馬場毅議員 庁舎敷地にある平和の塔に「非核平和宣言都市」の文字を掲げ、市報等で広報してはどうか。

答 市長 平和の塔は平成元年の非核平和都市宣言の決議を契機に、新庁舎建設とあわせ、先人の思いを込めて建立した。改修は考えていないが、広報についてはしっかり取り組んでいく。

住宅リフォーム補助金の復活・店舗リニューアル補助金の新設を

問 馬場毅議員 商店や飲食店のリニューアル工

費に一定の補助金を支給する補助金制度の新設を。

答 市長 市では新規創業者の支援目的で、中心市街地の空き店舗改修費用と家賃に對しての補助金を交付している。その他、低金利の融資制度等もあるので、運転資金や設備投資に活用してもらいたい。

働く青少年が気軽に利用できる文化施設を

問 馬場毅議員 登録すれば、無料で利用ができる文化施設を作ってほしいという声が、若い世代から出されている。

答 教育長 生涯学習センター、公民館等、文化施設は充実しており、新たな施設整備は考えていない。現状の施設を学生、青少年の皆さんなどに気持ちよく使ってもらえるよう、管理運営に努める。



田畑正敏

人口減少、高齢化社会をカバーしながら「元気な伊那市」を更に推進していくための施策について

問 田畑正敏議員 何時まで本計画や目標は明確になったのか。

答 市長 移住・定住促進プログラム、地方創生総合戦略を策定するなど先駆的施策を進めている。

問 田畑正敏議員 行政と市民全員参加で「元気な伊那市」を創造するためには、役割分担、課題設定、目標の明確化が必要と考えるが。

答 市長 議会、市民、地域・各種団体等の代表で構成する地方創生総合戦略審議会を設置し、事業の進捗管理、効果検証等を実施している。夢のある日本を支えるモデル都市の実現に向け取り組んでいる。

移住・定住者向けの住宅施策について

問 田畑正敏議員 「伊那市田舎暮らしモデル地域」である新山地区での空き家不足が深刻である。モデル地域として移住者向け住宅確保に向けた市の支援を。

答 市長 旧新山診療所、新山荘の後利用も含めて地域の意向を確認しながら早期に

検討していく。

問 田畑正敏議員 新山地区は、伊那市、長野県の田舎暮らしモデル地域であるという特性を生かし、「特区」という考

え方の中で農振除外認可期間の短縮を図る事ができないか。

答 市長 内閣府の国家戦略簡素化する「特区」は全国的に認められていない。農振除外はハードルが高いのが実態である。



柳川広美

子どもの貧困対策の拡充を

問 柳川広美議員 ①子どもの医療費の窓口負担はゼロに。②中学校の制服等学用品が高く、入学時に10万円を超える場合もある。保護者負担の軽減を。③市独自の給付型奨学金制度の創設を。

答 市長 ①福祉医療を維持するために、1レセプト500円の負担は適当と考える。③議会からの提言を受け調査・研究をしている。真に必要な支

援を見極めて実施する。

教育次長 ②制服は学校により価格差もあるので、学校と衣料品組合の協議が進むよう働きかける。運動着の色の問題などは保護者負担の軽減が図れるよう研究したい。

産業立地の今後の方向性について

問 柳川広美議員 ①空き地・空き工場の情報提供について市民に呼びかけを。

答 市長 ①市報等で広く呼び掛ける。②産業立地基本方針に基づき常時案内できる産業用地を確保する。

伊那公園を防災公園に

問 柳川広美議員 ①伊那公園南側斜面の倒木を受けて対策は。②伊那公園を防災公園として整備を。

答 市長 ①基本的には所有者が管理すべき。市有地は順次伐採する。②伊那スタジアムと市営球場は、指定緊急避難場所に指定している。公園内の施設更新時にかまどベンチ・太陽光発電による照明等を考えたい。



白鳥敏明

下水道事業の現状と今後について

問 白鳥敏明議員 要介護・要支援の高齢者世帯、身体障がい者世帯、高齢者だけの世帯等に対して、下水道接続期限経過後における接続補助制度創設の検討を。

答 市長 既に期限内の接続サポート補助制度はあり、高齢者・障がい者対象の住宅改修補助制度もあるので、新たな補助制度の創設は考えていない。

問 白鳥敏明議員 六道原工業団地は、下水道未整備であるが、誘致企業だけに整備し、既存企業の下水道は未整備となる状況をどの様に考えているのか。

答 市長 今回の下水道整備を一般会計で実施した。今後の新規整備は、下水道事業経営健全化計画の方針に基づき、採算性を充分考慮しながら進めていく。

三峰川右岸道路の交通安全対策について

問 白鳥敏明議員 農作業者の安全対策として、歩道の延長検討を。また暫定の安全対策として側溝蓋の増設と、歩道未設置部分の車線を、追い越し禁止区間に変更できないか。

答 市長 歩道設置は、通学路の安全確保が優先で、農作業用の歩道設置は難しい。側溝蓋の増設は原材料支給予算枠内で可能だが、全ての圍場に駐車スペースの設置は困難である。裏道への駐車や、馬入れ幅の検討も必要と考える。追い越し禁止区間については、公安委員会に相談してみたい。



前田久子

AED(自動体外式除細動器)について

問 前田久子議員 AEDは心停止を起こした時、電気ショックを与えて命を救う機器で、5分以内に使用した場合の救命率が高いことから普及が進んでいる。一方でAEDの使用率は数%と低い事が課題となっている。講習を受けても使う自信がない、設置場所を知らない、遠く間に合わない等の理由があるが、AEDは設置後の運用が重要で正しく管理されて初めて救命行動に繋がるものである。

答 市長 ①所管の97施設へ99基、分かりやすい場所へ設置し、講習会も実施している。④講習会を各担当課が行っており、施設の職員も講習を受けている。民間設置を含めた伊那市全体の把握は難しい。

教育次長

②21校全部と体育施設13か所へ設置。小学校5・6年生は保健指導の時間にAEDを現場へ届ける等を学んでいる。心臓検診は小1、小4、中1で行い、受診結果により登山、スポーツ関連行事への参加等の判断を行っている。③各自治会の判断で設置しているので把握していないが、AED講習会等の情報提供を検討したい。

危機管理監

⑤伊那市公式ホームページにある上伊那安心安全マップに、公共施設のAED設置箇所を載せている。マップを随時更新し、正確な情報提供に努めたい。



唐澤千明

伊那インター工業団地の更なる発展について

問 唐澤千明議員 ①工業団地西の県道沿いの法面は県有地だが、管理不十分で荒れている。県が市で伐採し、現状法面の整備・美化を図るべきだが考

答 市長 ①指定緊急避難場所である21ヶ所の小・中学校体育館の耐震改修はほぼ終了している。地域で最も安全な場所

えは。②産業用地を整備提供してきたが、現在案内できるのは一区画のみである。伊那インター工業団地の東側に用地確保していくことの考えは。

答 市長 ①箕輪からの花もも街道延伸の要望もある。高木のドイツトウヒなどの伐採を県で行い、伐採の終了した所から地元協力を得ながら順次花ももを植えていきたい。

答 市長 ②早急に産業用地を確保しなければならぬ状況。伊那インター工業団地の東側を大芝の森まで順次拡張していきたいが、伊那西部地区国営施設機能保全事業の受益地となっており、調整が大変困難である。

避難所施設確立と充実に向けての今後について

問 唐澤千明議員 ①指定場所が不価格の場合、改善等のアドバイスが必要だが考えを。

答 市長 ①指定緊急避難場所である21ヶ所の小・中学校体育館の耐震改修はほぼ終了している。地域で最も安全な場所

えは。②産業用地を整備提供してきたが、現在案内できるのは一区画のみである。伊那インター工業団地の東側に用地確保していくことの考えは。

へ避難することが重要である。
②総合支所には代替施設があり、設置については考えていない。総合支所建替え時に強固なものにしたい。



飯島光豊

障がい者や高齢者の移送サービスの継続について

問 飯島光豊議員 ①運転手や補助金で困難を抱える福祉の移送サービスの継続を。

②市社協に委託をして、利用者に切れ目のないサービスの継続を。

答 市長 ①今年の秋口までに身体障害者福祉協会と話し合って、利用者に不便のないような代替案を考えたい。

保健福祉部長 ②選択肢として市社協に継続できないか検討を依頼している。

県教委「高校改革実施方針」案と上伊那地域協議会について

問 飯島光豊議員 ①県教委が示す高校再編案を協議

議するのになぜ非公開にするのか。②県教委が協議会共同事務局で上伊那の独立性は侵されないか。③再編案をまとめる前に、頻繁に住民の意見を聞く会を開くべき。④県教委の案は上伊那の高校をどう統合再編しようというのか。⑤噂では伊那北高校と伊那弥生ヶ丘高校が統合再編される話も聞かぬが、校名をあげて協議するのか。⑥県教委は1学年、6〜8学級の大規模高を指すが中規模校は。

答 市長 ①非公開でも可能な限り公開するとの会長（駒ヶ根市長）の発言に期待したい。②上伊那広域連合が主体的に運営を担い、県教委は補助的な位置づけである。③事務局案にとらわれず、状況にあった運営がなされると思う。④県教委の案を前提に検討する必要はないと考えている。⑤協議は「統合ありき」ではない。

教育長 ⑥学校の規模や教育内容は、地域性に立った検討が必要であり、中山間地の高校については、地域の思いや取り組みへの配慮が欠かせない。



小林真由美

子育てに関する支援「ファミリーサポートセンター」について

問 小林真由美議員 現在のあり方と利用状況は。また、会員及び働くお母さん方の実態・要望の把握分析の状況は。

答 市長 子育て支援として協力会員の増加に力を入れ、定住自立圏としての協力も考えている。

保健福祉部長 毎年、会員が増加している。依頼に対して、協力会員の居住地域により、近隣対応が困難な場合もある。

問 小林真由美議員 援助内容等、詳細をホームページに掲載するなど広く周知し、地域住民との交流会など顔合わせの機会づくりや、安心して利用できる体制づくりを。

答 市長 ホームページの充実を図り、広報でわかりやすく説明していく。交流会については慎重に考える必要がある。

保健福祉部長 協力会員は登録

時事前講習の修了や、毎年スキルアップ講座を受講し、資質向上を図っている。利用に当たっては事前打ち合わせ、顔合わせ等を行い、相互が理解し合えるようにしている。

問 小林真由美議員 協力会員の登録者不足を補い、各地域での相互援助活動が行えるように、地域のボランティアグループや介護施設等での協力を取り入れられないか。

答 市長 相互援助活動がより良いかたちで発展することを望んでいる。実際、宅

幼老所での実績があり、今後介護施設等での協力を検討する。



池上直彦

伊那市の地域医療について

問 池上直彦議員 地域医療について市長の考えは。

答 市長 伊那市の直営診療所は、医療機関の少ない地域の初期医療として重要であるが運営は厳しい。

問 池上直彦議員 長谷鍼灸治療所を外部評価の赤字

を理由に閉所する理由は。

答 市長 平成22年の外部評価では、赤字経営を踏まえ民間委託、民間譲渡を前提とし廃止が適当と判断された。市内にも民間業者があり民間活力を生かすべき。次回の長谷地域協議会での意見を踏まえ検討したい。

問 池上直彦議員 長谷鍼灸治療所の廃止は決定事項なのか。

答 市長 行政改革の外部評価があるので、廃止への方向性は変わらないが最終決定ではない。

鍼灸治療所の必要性について

問 池上直彦議員 伝統医療などを推進し、住民の健康増進サービスとして、鍼灸を取り入れた自治体としてアピールできるのでは。

答 市長 鍼灸治療所は、旧長谷村の先進的な取り組みとして整備されたが、利用促進や料金の見直しを行っても赤字の大幅な軽減には至っていない。

問 池上直彦議員 高齢者の介護予防の充実、健康長寿社会の実現、症状の改善などに役立つ、痛みの改善により運

動の継続が期待でき、社会活動参加も促進されるのでは。

答 市長 痛みの緩和方法として鍼灸やそれ以外の治療を選択する人もいる。本人の希望に添う方法で行うことが大切。

問 池上直彦議員 女性や障がい者などの就業支援とUI-Jターン促進が期待できる。移住希望者の中には伝統医療等に関心が高い人もいるためアピールポイントになるのでは。

答 市長 伝統医療などが充実した地域として知名度が上がりが、移住する人が増えるならありがたいが、収支状況は厳しく、運営継続については、多面的に考える必要がある。



飯島尚幸

対話行政に対する市長の信念について

問 飯島尚幸議員 市長選挙で公約した、対話が基本の思いやりの市政実現に向け、今後「市長と語り合い」は、意見交換や議論の場として継続する意向か。

動の継続が期待でき、社会活動参加も促進されるのでは。

答 市長 地域や各団体の皆さんはじめ多くの市民との直接対話から、素晴らしい提案や提言をいただき市政に反映してきた。今後も対話と現場主義をモットーに取り組んでいく。また、社会的に弱い立場の方達にも、目が行き届く行政スタイルを継続する。

問 飯島尚幸議員 20、30代の青年は、近未来への即戦力として大切。異業種間の若者の意見交換の場を設定するなど、市長自ら、校長等となつて人材育成に取り組む決意は。

答 市長 次世代を担う若者の育成は大事。提案は大変参考になる。どのようなやり方が考えられるのか、今後に生かしていく。

問 飯島尚幸議員 定住自立圏構想の一つとして、伊那市、箕輪町、南箕輪村の若者が、3市町村のいずれかに就職する場合、自治体相互が協力しあい、就職先の企業を支援するなどの協定を結ぶことは考えられないか。

答 市長 定住自立圏の3市町村が相互に協力しあいながら、圏内企業の就職を支援することは大切。上伊那全体を

一つの通勤圏、経済圏としてもとらえ、さらに力強く人材確保に努めていく。

問 三澤俊明議員 中学生の自転車通学生徒に対し、市独自の予算で自転車購入費の補助金を出す、もしくはヘルメットの無償支給等について考えは。

答 教育次長 現在実施されている小学生片道4km以上、中学生片道6km以上の遠距離通学生徒を対象とする補助以外での実施は今のところ考えてない。

問 三澤俊明議員 遠距離通学児童生徒通学補助金交付の対象となる区域を、移住等によりできた郊外の新住宅地や、急勾配な通学路を持つ地域等を対象に見直したらどうか。

答 教育次長 現在は地形等は考えずに距離のみですべて対応しているが、今後、他市の事例等を参考に研究する。



三澤俊明

効果的な通学費等補助について

問 三澤俊明議員 中学生の自転車通学生徒に対し、市独自の予算で自転車購入費の補助金を出す、もしくはヘルメットの無償支給等について考えは。

答 教育次長 現在実施されている小学生片道4km以上、中学生片道6km以上の遠距離通学生徒を対象とする補助以外での実施は今のところ考えてない。

問 三澤俊明議員 遠距離通学児童生徒通学補助金交付の対象となる区域を、移住等によりできた郊外の新住宅地や、急勾配な通学路を持つ地域等を対象に見直したらどうか。

答 教育次長 現在は地形等は考えずに距離のみですべて対応しているが、今後、他市の事例等を参考に研究する。

お知らせ

請願・陳情

請願・陳情は、定例会開会前に開催される議会運営委員会の前日正午までに提出されたものを、その定例会で原則審査します。

ご提出いただきました請願・陳情は、定例会本会議で委員会へ付託し、審査報告の後、本会議で採決します。

次回9月定例会審査の受理期限は、8月17日正午です。(期限は、変更となる場合もあります。議会事務局へご確認の上ご提出ください。)

傍聴にお越しく下さい

6月定例会市議会は、78人の方が傍聴されました。市議会は、どなたでも傍聴できます。なお、団体で傍聴される場合は席に限りがありますので、あらかじめ議会事務局までご連絡ください。

議会中継

議会中継は、伊那ケーブルテレビ「伊那市チャンネル」で放送しています。再放送も行っていますので是非ご覧ください。チャンネルは次のとおり。

デジタル 11チャンネル
S・T・B(デジタルチューナー)でご覧になる場合は
デジタルC 511チャンネル

次回9月定例会の詳しい放送予定は、「市報いな」9月号をご覧ください。



黒河内浩 議長



伊那市議会常任・特別委員会の役割

市民の期待に応え行動開始!

各委員会の関連施設の現地調査を行う

● 総務文教委員会

総務文教委員会は、総務・教育・防災など、市民生活に関わる委員会です。

6月20日の総務文教委員会終了後に、当委員会に関係する市内施設9か所の現地視察を行いましたので報告いたします。

○伊那スタジアム
防球ネットが新設され、ボールがフェンスを越えることが無くなったとのことでした。



伊那スタジアム 防球ネット新設

○伊那北小学校給食室
改築され、床は衛生的なドライ方式となり、食器洗浄機や乾燥機など最新の設備が投入されました。

○高遠スポーツ公園園文化体育館
耐震工事が完成し地元の木材を活かした素晴らしい設備に生まれ変わっていました。

○高遠町総合支所・保健センター
総合支所建替えのために、一時移転をする準備を進めていました。

○長谷伊那里体育館
フットサルができるように改修されていました。

○防災コミュニティセンター
普段は地域のサークル活動で利用できる施設となり、緊急時には防災本部を設置できる十分な施設と設備が揃っていました。



今春から利用開始となった防災コミュニティセンター

○創造館
「国重要文化財常設展示室」と「井月展示室」に新たな資料が加わり、さらに充実した展示内容となっています。

● 社会委員会

社会委員会は、生活環境課、市民課、税務課、社会福祉課、子育て支援課、健康推進課、高齢者福祉課を所管します。市民の皆様にとつては一番身近な事務を担当する部署です。常に、市民の目線に立った取り組みを実践します。

6月19日の社会委員会終了後、当委員会に関係する施設の現地調査を行いました。

○西箕輪診療所
本年1月に診療開始したJ・A長野厚生連西箕輪診療所です。診療所内の様子などを確認しました。

○伊那中央病院北棟
健診センターの開設、訪問介護ステーションの充実、美容外科外来の拡充がなされました。

また、県内第二号の導入となった「リニアック(放射線治療器)」などが揃い、さらに充実した中央病院です。

○上伊那クリーンセンター
(新)ごみ中間処理施設
工事が計画どおり進んでいる施設を見学し、9月から試運転をするという説明を受けました。



伊那中央病院のリニアック

○バイオマスエネルギー工場
上伊那森林組合のペレット工場を見学し、ペレットの有用性などを確認しました。



上伊那森林組合 ペレット工場

○高遠保育園建設工事場所
平成31年3月完成予定である高遠保育園の工事場所にて、周辺の環境等を確認しました。

● 経済建設委員会

6月18日午後、担当する市内12施設や道路を視察しました。

○パノラマオフィス伊那

下新田に完成し、既に入居も始まっています。パノラマオフィスとキットオフィスは、市外からの起業や都市との2地域居住で仕事をするための施設です。眺めも良く綺麗な仕事場でした。



パノラマオフィス伊那

○環状南線

昨年度までに事業費ベースで61%の用地買収が完了し、今年度は道路改良工事も着手する現地を視察しました。付け替える市道の水路工事が始まっています。

○大萱市営住宅・若宮市営住宅
共に県と市で建替える住宅の

現地を視察しました。本年度は両施設ともに設計に入ります。

○みはらしファーム

みはらしの湯のペレットボイラーや体験施設「やってみらし」、幼児用キックバイクコースを見学。より充実した施設となっていました。

○六道原工業団地

市が土地を用意して2社へ売却する現地を視察。防火貯水槽の工事が始まっています。

○南アルプススーパー林道

昨年崩れた屋敷沢を視察、壁面工事は完了していましたが、まだ改良工事は必要とのことでした。

鷹岩トンネルもほぼ完成し路面の舗装と照明を残すのみで、9月末完成とのことでした。



南アルプススーパー林道 屋敷沢

● 議会運営委員会

会派間などにおける議会運営の調整と、議会運営を円滑にするためや、議長の諮問機関としての役割をはたします。

議会運営委員会の所管事項については、地方自治法によつて、次のように定められています。

- 1、議会の運営に関する事項
- 2、議会の会議規則、委員会に
関する条例等に関する事項
- 3、議長の諮問に関する事項

● 事業評価検証特別委員会

委員会

これまで議会で行ってきた政策提言や決議等が、どのように市政に活かされるかを検証し、次の事業評価へとつなげていきます。

委員長	飯島 光豊
副委員長	白鳥 敏明
委員	二瓶 裕史
	野口 輝雄
	唐澤 千明
	唐澤 稔
	宮島 良夫
	柴 満喜夫
	前田 久子
	柳川 広美
	飯島 尚幸

● ICT推進委員会

議会改革の二環としてICT（情報通信技術）の活用を進め、平成28年11月から導入を開始したタブレットですが、引き続きより効率的な議員活動の充実、深化のためにICTをどのように推進すべきか調査研究をします。

委員長	野口 輝雄
副委員長	二瓶 裕史
委員	馬場 毅
	原 一馬
	松澤 嘉
	三澤 俊明
	前田 久子

● 議会だより編集委員会

毎月発行の議会だよりで、議会活動をより分かりやすく市民の皆様にお伝えできるように、毎月編集作業をしています。

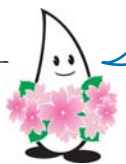
委員長	飯島 進
委員	野口 輝雄
	二瓶 裕史
	柳川 広美
	白鳥 敏明

※ICT推進委員会及び議会だより編集委員会は特別委員会には該当しません。

第4回 市民と議会との意見交換会を開催します

- 8/17(金) 高遠町総合福祉センター「やますそ」
- 8/20(月) 伊那公民館
- 8/22(水) 伊那市防災コミュニティセンター

・3会場とも19時～21時(予定)です。
・託児コーナーもあります。



3日間とも右側の3つのテーマに分かれて意見交換します

- ・伊那市の公共交通を考える
～市内循環バスと買い物弱者等の現状と課題～
- ・健康で暮らしやすいまちづくり
～子どもの安全・安心を考える～
～健康長寿・認知症対策を考える～
- ・魅力ある伊那市
～人が集まる伊那の産業(しごと)～